

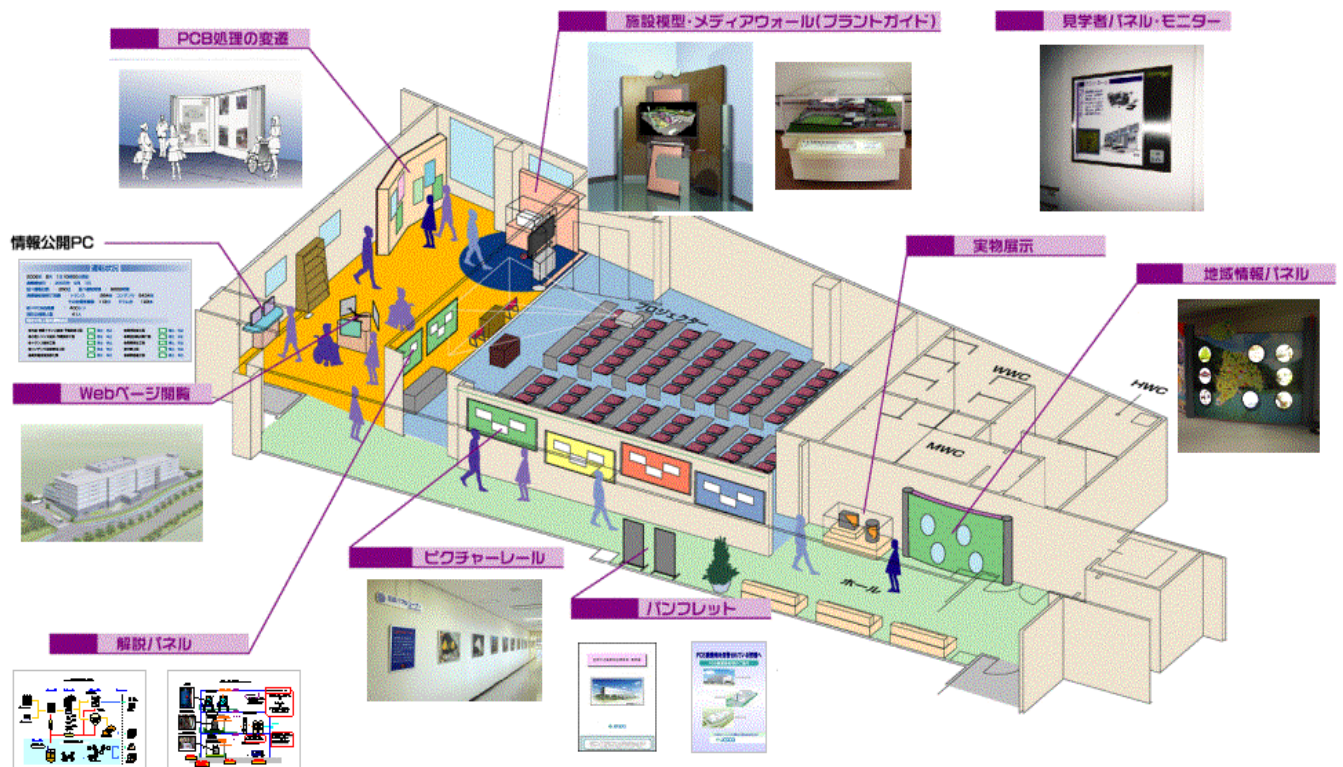
豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.2)

PCB廃棄物処理事業検討委員会第5回豊田事業部会

4月27日(火)、名鉄トヨタホテルにおいて第5回豊田事業部会を開催しました。

日本環境安全事業株式会社(JESCO)では豊田事業について学識経験者によるPCB廃棄物処理事業検討委員会豊田事業部会を設け、安全で確実な処理を行うためのきめ細かな指導、助言、評価を行っていただく体制を組んでおります。部会は、田中勝岡山大教授を主査とし、副主査に原口名大教授、委員として森名大教授、川本国立環境研究所室長という構成で、愛知県及び豊田市の環境行政部局代表者にオブザーバーとして参加していただいております。

当日は親委員会委員長の永田早稲田大学教授も出席され、情報公開設備などについて検討していただきました。下図の設備を通して、地元の皆様に施設を理解していただくとともに、操業の状況を情報公開していきます。また、環境学習の場として学校の施設見学学習に利用していただける施設にしていきたいと考えています。



平成16年度第1回東海地区広域協議会が開催された

5月28日に、平成16年度の第1回豊田PCB廃棄物処理事業にかかる東海地区広域協議会が愛知県庁で開催されました。協議会は平成15年度に設立され、メンバーは愛知県、岐阜県、三重県、静岡県と保健所設置市である名古屋市、豊田市、豊橋市、岡崎市、岐阜市、静岡市、浜松市で構成され、環境省(オブザーバー)と日本環境安全事業株式会社(特別会員)が参加しています。

今回の協議会では、昨年度の活動報告のあと、「国のPCB廃棄物処理基本計画の改定」が環境省から説明され、「東海地区におけるPCB廃棄物保管事業者等への指導方針(案)」が検討されました。

その際、JESCOからは先行事例である「北九州事業の受入基準と受入計画」の説明を行いました。

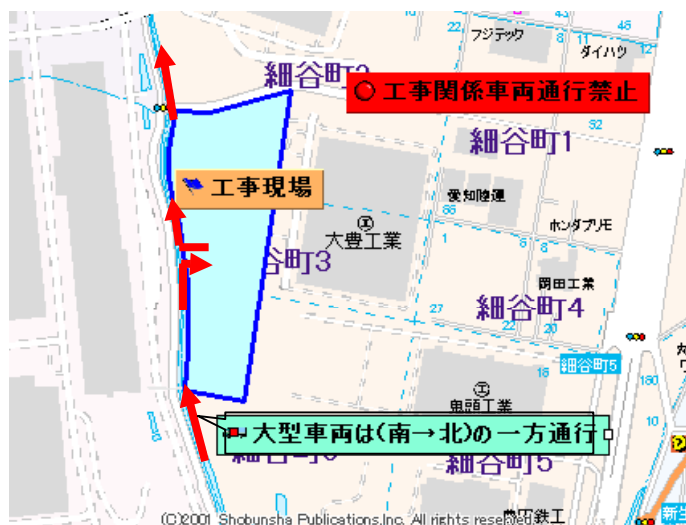
杭工事を開始

6月1日より杭工事を始めました。直径500mmと600mm、長さ14～18mの高強度鉄筋コンクリート杭488本の杭工事をを行います。

杭工事というとハンマーで打ち込むイメージがありますが、今回はアースオーガ工法で行います。この工法は低騒音・低振動工法であり、杭の支持地盤となる砂礫層まで穴をあけて、杭を落とし込み穴と杭の隙間にセメントミルクを注入して固める工法です。また、日曜日には杭工事は行いません。



工事資材・搬入出車両の通行ルート



工事資材の搬出入車両(大型)は、交通災害防止と渋滞緩和の観点から、逢妻男川沿いの市道(広久手下細谷線)を南から北方向へ一方通行で通行します。

また、鴻ノ巣橋北交差点から工事現場までに車両待機場所を設け、現場内の工事状況に合わせて搬入し、搬入出車両の集中等による路上停車を防止します。

工事現場北側の市道(衣ヶ原細谷線)の通行は、工事現場入口までとし、工事車両の東側への通行は行いません。

工事現場入口には、交通誘導員を配置し一般通行車両を優先した工事車両誘導を徹底します。

今月の工事予定

- 6月初旬～ 杭工事(アースオーガによる低騒音低振動工法で行います。)
- 6月初旬～ 山留工事(北側入口、大豊工業側に工所用土留めのための親杭を入れます。)
- 6月中旬～ 擁壁基礎工事(逢妻男川との境界に土留めを目的とした擁壁を設けます。)

連絡先

- 発注者 日本環境安全事業株式会社(JESCO)
(連絡先) 豊田事業所 0565-37-7226
- 施工者 クボタ神鋼環境(豊田)異工種建設工事共同企業体
代表者 株式会社クボタ
構成員 株式会社神鋼環境ソリューション
(連絡先) 豊田作業所 0565-71-5722



施工者から一言

いよいよ工事が本格的にスタートしました。これから、来年の竣工へ向け、皆様に信頼され安全な施設を工事関係者一丸となって建設していきます。また、工事中の安全確保、環境保全には全力で取り組み、全工期無事故無災害をめざしていきますので、皆様のご指導ご協力のほど、よろしくお願い致します。6月は『全国安全週間準備月間』です。